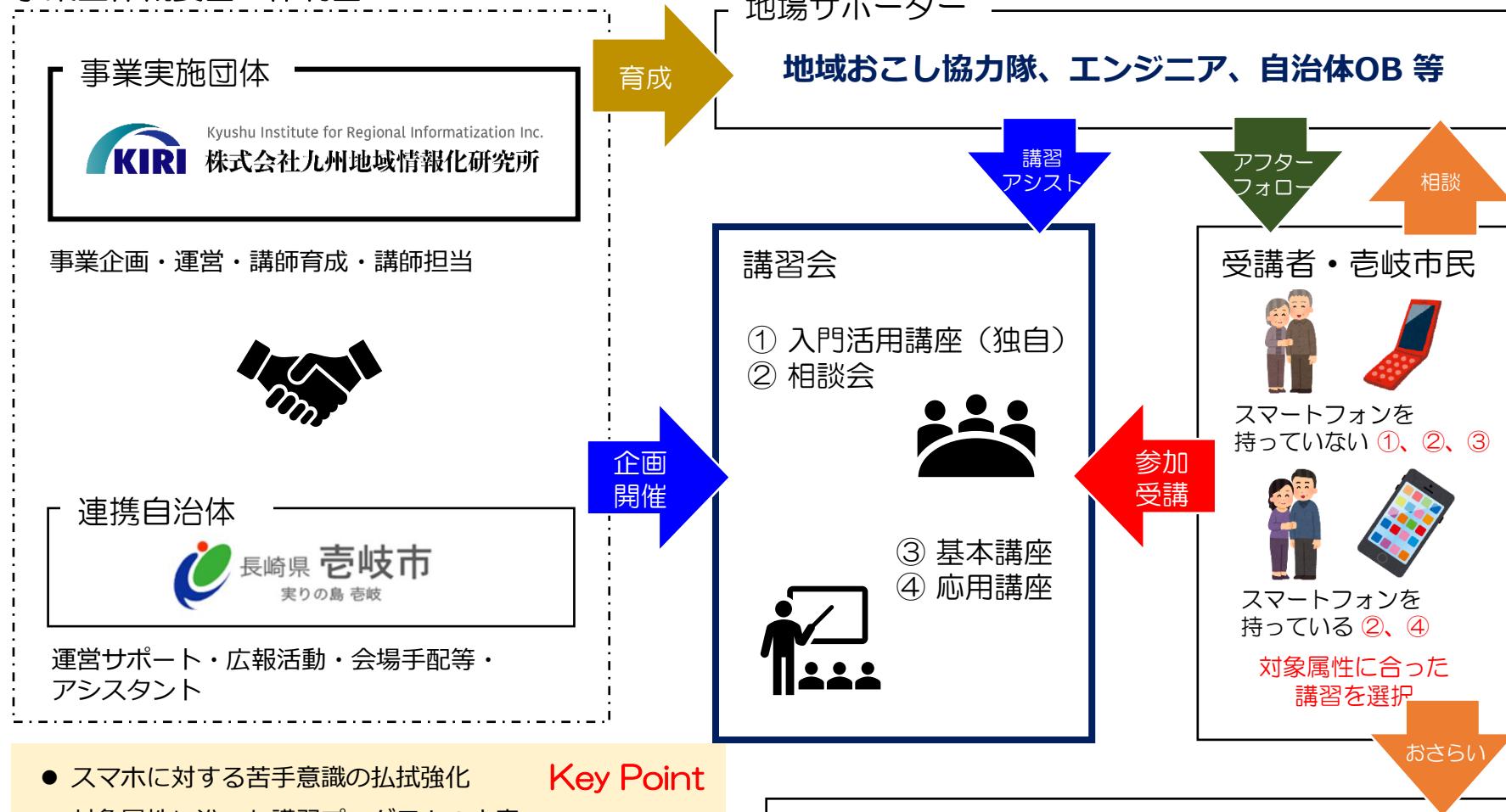


申請者名

株式会社九州地域情報化研究所

## 事業全体概要図・体制図



**Key Point**

- スマホに対する苦手意識の払拭強化
- 対象属性に沿った講習プログラムの立案
- 地場サポーターを育成することで持続可能なフォロー環境の構築が可能
- 助け合いやシビックテック、シニアネット等のコミュニティ形成のきっかけに

## 復習環境の構築

基本講座・応用講座に関してはナレーション付きのスライド（動画教材）を独自に作成し、自宅で復習が可能な環境を構築する。（希望者へURLを連絡）

## 講習会等の実施計画

入門活用講座（独自教材）および相談会

スマホに感じる抵抗や不安を払拭するきっかけづくり  
こんなこともできるんだ！といった発見ができる環境

	メディアリテラシー	動画配信サービス	便利系アプリ	キャッシュレス決済	県や市のLINE公式アカウント	相談会
実施コマ数			4			8

基本講座（標準教材）

スマホでなにができるのか知りたい、どのように使うのか、操作性は？  
スマホは持ってはいるが使いこなせていない、もっぱら電話とメールだけ

	電源の入れ方等	電話のかけ方等	アプリ等	ネットの使い方等	メール等の使い方	地図アプリの使い方	SNSの使い方	オンライン会議	安心・安全
実施コマ数	2	2	2	2	2	2	—	—	—

応用講座（標準教材）

マイナンバーカードの申請をスマホで行いたい

	マイナンバーカード	マイナポータル	マイナポイント	e-Tax	オンライン診療	地域オンライン行政
実施コマ数	8	—	—	—	—	—

支援員数	アシスタント数	基本講座：実施コマ総数	応用講座：実施コマ総数	活用講座（独自教材）	相談会
2	4	12	8	4	8

## 【講師の確保】

担当となる講師は、新規採用ではなく、ICT利活用の促進等の業務実績を有する弊社社員2名を配置する。自社内から講師を配置することで、研修計画やカリキュラムを理解し、密な連携が可能となる。

## 【講師の養成】

担当となる講師2名は通常業務でICT利活用の促進事業に従事し、上記に示す通り、デジタル活用に関する業務実績を有する。講師として着任後も、知識を深めるとともに、常に新しい情報や知識習得のためのスキルアップを目指す。その他、オンライン講座等を活用した自主的な学びを促す。また、講習会のアシスタントに対しては、支援内容の情報共有だけでなく、アシストすべきポイントをまとめた教材を活用した事前講習などを適宜、実施する。

## 【講師の管理】

講師との連絡・指示は電話やメールに加え、ビジネスチャットツール等を活用し、推進スケジュールや内容の変更連絡等、情報共有の効率化を図る。また、必要に応じ定期的なオンライン打ち合わせの場を設け、進捗管理を行う。

## 講習会等の実施イメージ

スマホに対するニーズはスマホの購入前後およびすでに持っていても使いこなせているかいないかで大きく変わってくるため、対象属性に的を絞った講習を心掛ける。



## 講習会等を実施する拠点及びスケジュール（カッコ内の数値は予定コマ数：総実施コマ数32コマ）

壱岐市旧4町中心地に拠点を置く、公民館での開催を予定

	8月	9月	10月	11月	12月	1月
①武生水地区 公民館	活用講座(1) 相談会(2)	基本講座(3)	応用講座(2)			
②勝本地区 公民館				活用講座(1) 相談会(2)	基本講座(3)	応用講座(2)
③芦辺地区 公民館	活用講座(1) 相談会(2)	基本講座(3)	応用講座(2)			
④石田地区 公民館				活用講座(1) 相談会(2)	基本講座(3)	応用講座(2)